

特 13  
流 1833  
卷 63

繪本古圖記六部卷之三

日 國

諸大なる軍勢萬葉語

日 國

達家の二士是月出之國

右同肥前名護屋陣中結構之國

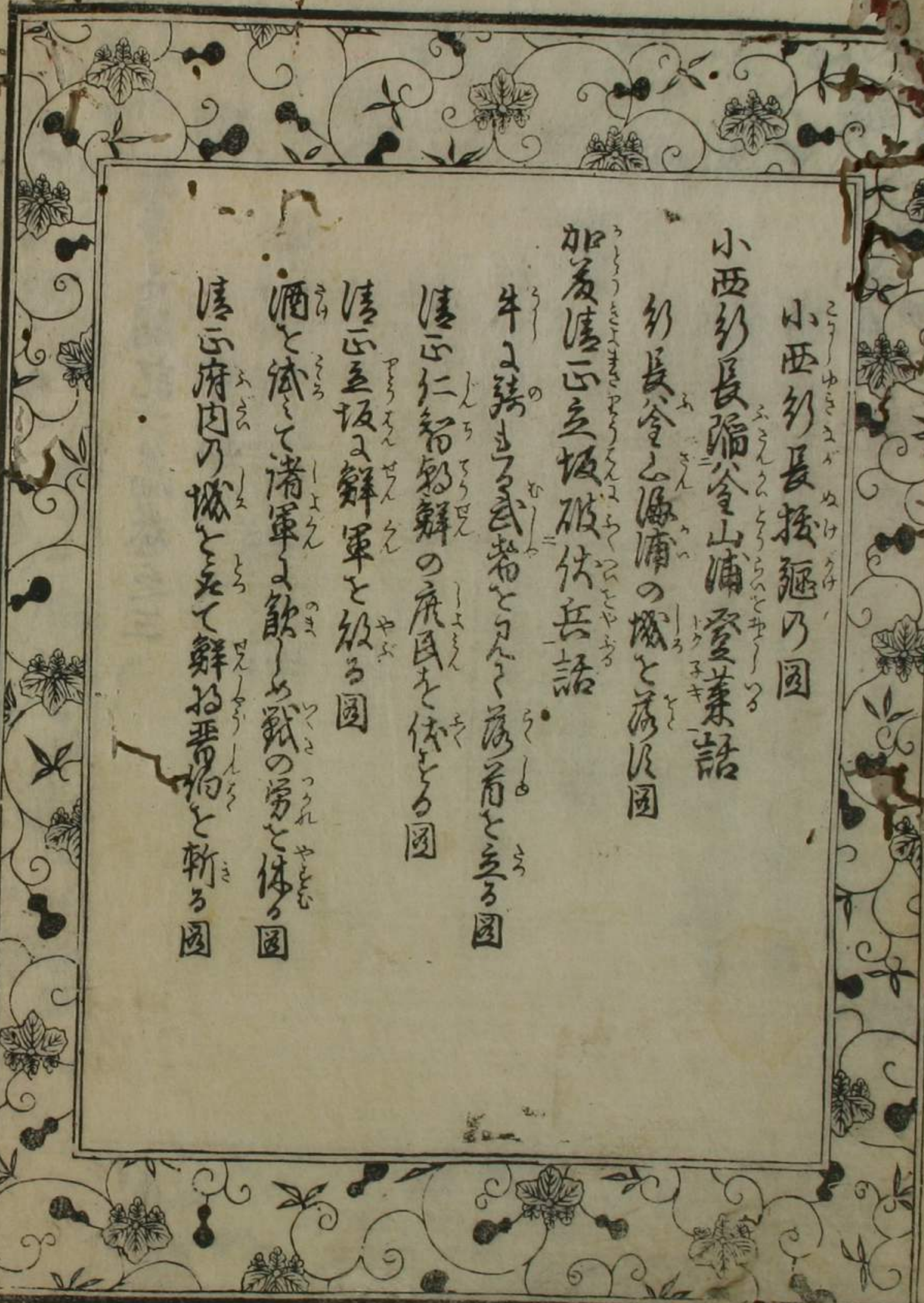
朝鮮渡海小西外長透諸島語

右同薩州紫野下向の國

朝鮮渡海の諸大なる陣中と折書と徳の國

諸大なる名護屋と致して朝鮮渡海とる國

繪本古圖記六部卷之三



小西外長接應の圖

小西外長臨谷山浦登萊詰

外長令と海浦の城と海兵團

加茂清正立坂破伏兵詰

牛と猪とる武者とらんく落首とる圖

清正仁智智解の庶民を依とる圖

清正立坂又解軍と放る圖

酒と体とて諸軍と飲ら戦の勞と休る圖

清正府内乃城とて解お番物と斬る圖

諸大將軍軍勢系集

天正二十年冬号改めて文禄元年と成るまで

天正二十年冬号改めて文禄元年と成るまで右圖中下知れり

中下諸國乃軍勢系都又集り秀吉の令と受後系集

先陣の二隊小西杉津守外長惣對馬守吉智松浦法直

信其勢都て二万八千七百余人則之と一列と又一隊の先陣加茂

計改清正猶志摩加茂守直重其勢合て二万二千八百余人

一列と小西外長加茂清正圍とて日と隔り先陣とて

加茂甲斐守永政大友後守義統志摩國兵庫院吉慶二

千人後修九勝門を交正則其外に國の軍兵と合て二万三千八百人

須賀長房守家正七千二百人長曾我部玄佐守元親生駒雅





東鑑前六卷

の軍勢  
おとむり  
此れ

東鑑

佐

真蹟記六橋備卷三

樂院九之三百人小早川左衛門督渡系橋左近將監宗重二万又  
 七百人毛利右馬助照元三万人右陸地を以ての軍勢都合十三万余  
 たり海路の兵九本大隅守吉高宗重佐渡守澄虎備前中務  
 少輔保春加茂左馬次吉秋高其勢都合九万余人熱軍十二万余人  
 皆朝鮮(渡海)と云き乃令令たり名護屋在陣の人も大和中納  
 言秀俊御座惠多宰相多家郷小田内大臣信雄御上松後(心)弼  
 藤勝滿(心)飛騨守氏郷小竹右京大夫能信達澤奥守政峯(心)上(心)  
 兼林右衛門左衛門政足角五郎左衛門長茂本下若狭守勝俊(心)号(心)長  
 為七始(心)其勢十万余人左圍又別(心)軍兵六万人を集め終(心)於軍  
 して乞(心)名護屋(心)終(心)乞(心)朝鮮渡海の軍兵十四万人(心)然(心)も(心)き  
 朝鮮(心)渡(心)る(心)も(心)大(心)明(心)の(心)多(心)勢(心)も(心)朝鮮(心)と(心)接(心)り(心)味(心)方(心)難(心)後(心)たり(心)と

真防(心)き(心)は(心)休(心)み(心)終(心)る(心)軍(心)の(心)大(心)軍(心)悉(心)く(心)都(心)と(心)立(心)次(心)分(心)を(心)ち(心)り(心)樂(心)樂  
 (心)り(心)名(心)護(心)屋(心)を(心)大(心)宮(心)押(心)通(心)り(心)名(心)護(心)屋(心)を(心)以(心)て(心)終(心)り(心)多(心)くの(心)旗(心)風(心)を(心)辨(心)り(心)大  
 將(心)の(心)多(心)流(心)弓(心)槍(心)長(心)柄(心)室(心)を(心)き(心)り(心)大(心)お(心)も(心)ひ(心)及(心)り(心)凡(心)物(心)以(心)て(心)難(心)後(心)終(心)る  
 の(心)武(心)者(心)共(心)率(心)乃(心)格(心)々(心)思(心)ひ(心)く(心)考(心)羅(心)と(心)壘(心)武(心)具(心)の(心)色(心)紫(心)紅(心)は(心)照(心)輝  
 き(心)り(心)を(心)晴(心)し(心)出(心)立(心)る(心)春(心)秋(心)乃(心)花(心)紅(心)糸(心)と(心)耐(心)又(心)咲(心)せ(心)下(心)り(心)て(心)凡(心)物(心)の  
 若(心)者(心)街(心)は(心)漫(心)ある(心)懸(心)の(心)觀(心)や(心)と(心)絲(心)襖(心)せ(心)ぬ(心)若(心)り(心)は(心)中(心)又(心)一(心)際(心)花(心)や(心)り  
 たり(心)海(心)政(心)峯(心)乃(心)武(心)者(心)押(心)之(心)旗(心)三(心)十(心)流(心)弓(心)又(心)百(心)張(心)鉄(心)炮(心)又(心)百(心)挺(心)又(心)二  
 換(心)又(心)紺(心)地(心)の(心)紋(心)付(心)る(心)具(心)と(心)着(心)銀(心)の(心)厨(心)斗(心)附(心)乃(心)左(心)刀(心)又(心)金  
 色(心)の(心)尖(心)笠(心)と(心)被(心)り(心)り(心)其(心)後(心)より(心)騎(心)馬(心)乃(心)武(心)者(心)百(心)二十(心)騎(心)是(心)れ(心)日(心)出(心)立  
 して(心)武(心)母(心)衣(心)又(心)令(心)の(心)寸(心)月(心)の(心)指(心)も(心)豹(心)の(心)尾(心)又(心)乳(心)雀(心)の(心)尾(心)と(心)結(心)係(心)り  
 馬(心)に(心)尻(心)の(心)皮(心)懸(心)の(心)皮(心)乃(心)馬(心)用(心)と(心)け(心)令(心)の(心)厨(心)斗(心)附(心)の(心)左(心)刀(心)指(心)係(心)り(心)り(心)

真蹟記六橋備卷三

一四



達家の  
二士屋  
乃  
圖

五

五

赫く并之遠後文七郎原田九馬成り奉流に一本をり此本を力て他  
 銀前をんく之は押納鹿乃りけし心申は金物と彼て紐とつは  
 高き結びて馬を乗り見物乃群集し軍押目を驚し叫きよ  
 して又静まらん 懲り日本の兵と争ひて又上は村来とる者六剣を  
 初め日先りり村て電のどしこれい真の剣のみ 正月申旬先陣都と  
 りて白龍と候方者之と見へるいけ三の本剣のたぐや  
 進段 日廿八九日乃以まを引き出立せらる軍勢凡に十三万余  
 人駭と云ん方こそつる秀吉並て名護屋乃地は陣屋と造り  
 せらる海山遠み樹本多の徳なりて自然の徳と成るは勢に方の  
 要害はして内々の廊下仮殿局敷寄屋をまると風流と候し  
 奇謀と懸きまづ色きと作り建られり叔と着初乃諸軍勢軍  
 備の指圖は陣屋を連るを固り御着とお給り日三月

新日右衛門出陣乃御儀と急ぐせ給ふそ附近は皆ヤリり若  
 名護屋を御座て遙々朝鮮と討せ給りて大明朝鮮の書翰日こ  
 村来と云文才あり者とる連らと彼國の天候と候し且書書乃文  
 章と候せらる然らばとて色を固色と配て宣ふ大明朝鮮  
 の毛唐人系文字とありんや秀吉を心は候し其吾國の修治波と  
 以て渠等國に遣はての要困と難せん難きやあべりはせ  
 困乃學生と推りるよ及び此と近臣等再言紙教とるや彼り其  
 疾右衛門はく之を思惟し給ふそ吾國の以る候て彼國の云流  
 と通ひるは理より候し則相國寺乃僧養光南後寺の靈  
 山東後寺乃承哲三人の長老と石具せらる人きよ定め給ふ  
 朝鮮渡海小西外長透諸君

右の  
山を  
照る  
光を  
君は  
河津  
幸を



葛城山記 卷三





東坡先生詩集卷之三



其二

蘇東坡詩集卷之三

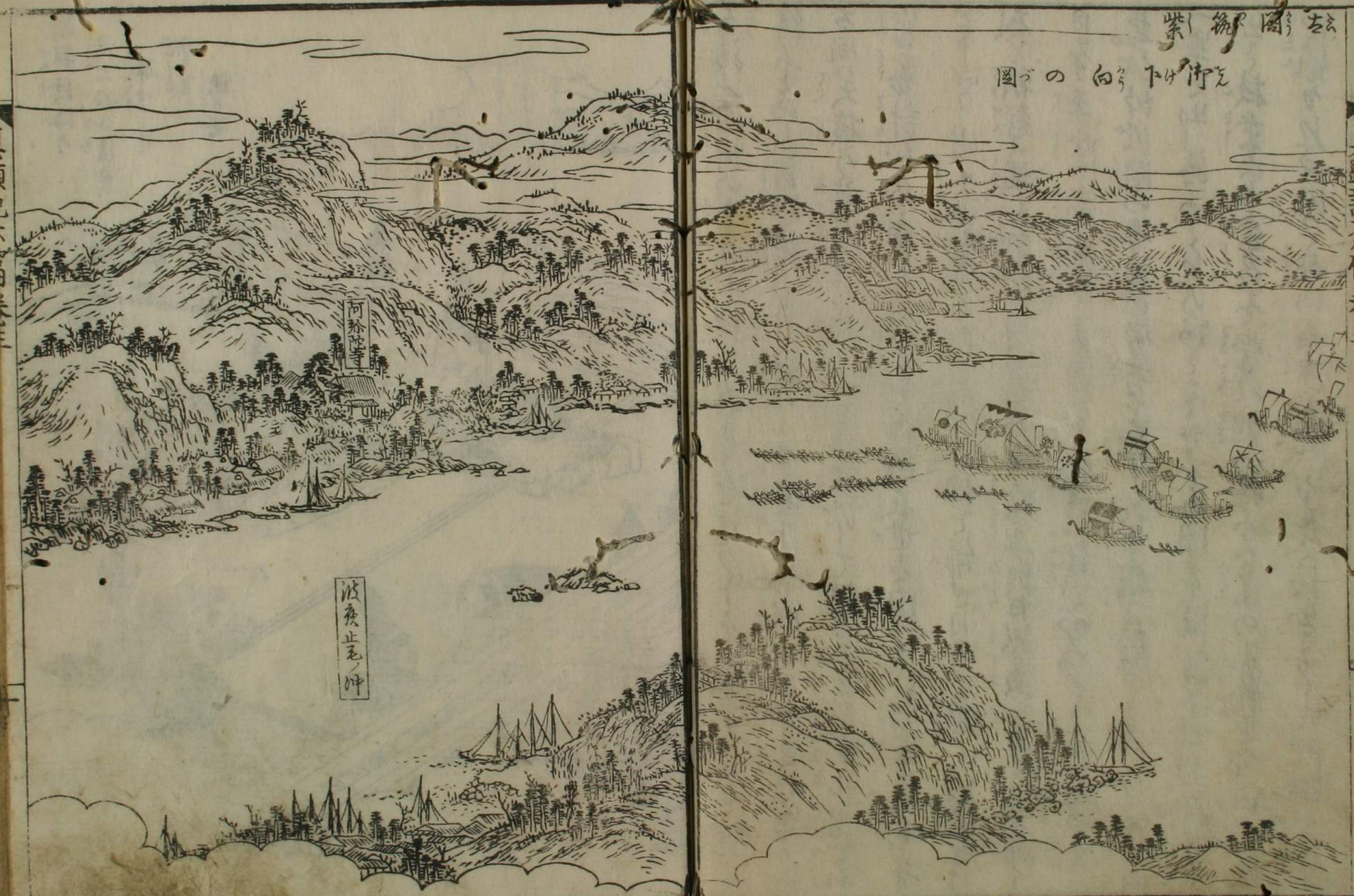
七

文徳元年三月十日左衛門右衛門尉藤原光朝を立せ給ひ名護屋より  
 陣し給ひる前後乃御勢二万余人ふせ亂軍の御馬印朝日ひ  
 やまの御旗の勇く交りけりし京中の雲霧山のとく集拜  
 せ給ひて終て安藝國嚴島に立せ給ひ長門の國より御舟  
 天皇御功留宿の社より幣（幣）赤間國阿蘇院寺に侍給ふ  
 尚寺に安徳天皇の御影平家一族の画像あり古人詩を紙  
 紙と紙（紙）唐像の側より附以寺僧謹て其故ゆを演るる圖  
 甚御接應（甚）令報教多し（令）賜り還り進んで肥前乃名護屋  
 より御舟の満御謹て向せり御返の幸殊（幸）信じて還りの旗中  
 急る御舟着と交り系せられ左衛門右衛門尉藤原光朝御  
 妻に及び給ひ御左衛門朝野と征戦し給ひる唯樂君乃世に  
 去給ふ御牌の余りも懇と志立とせ給ひんとせ給るる事と記し  
 給ふとの書に記し給ひ給ふこと多しは信長と記し給ひる  
 左衛門天授乃英才受り給ひて知りまじりて悟るる度量凡智と  
 容易計地心なごらんや信長公乃御在世を圖いも御柴籠守  
 事や御舟より君若志と遂てに海と併せ日本悉く御腹せば  
 乃と朝鮮は儒て大明と吾人なりと以多日思慮とてし心の妙  
 日本平定（平定）而所思（而）立給ふ朝鮮の征伐の如く一討の思  
 思ひ給ひ國の弊民の勞苦と顧みば本朝のため一希なる國  
 一軍と出給ふたれ乃何とせんやるる圖をばはまは甲斐より  
 出給ふ枝葉六十余万を出給ひ納り給ひ全業の忠節とてきやる  
 申給ふれりけり乃の軍と記し給ふんと信出さるる御側は光

真言宗御書卷三

紫系圖

國の白下河

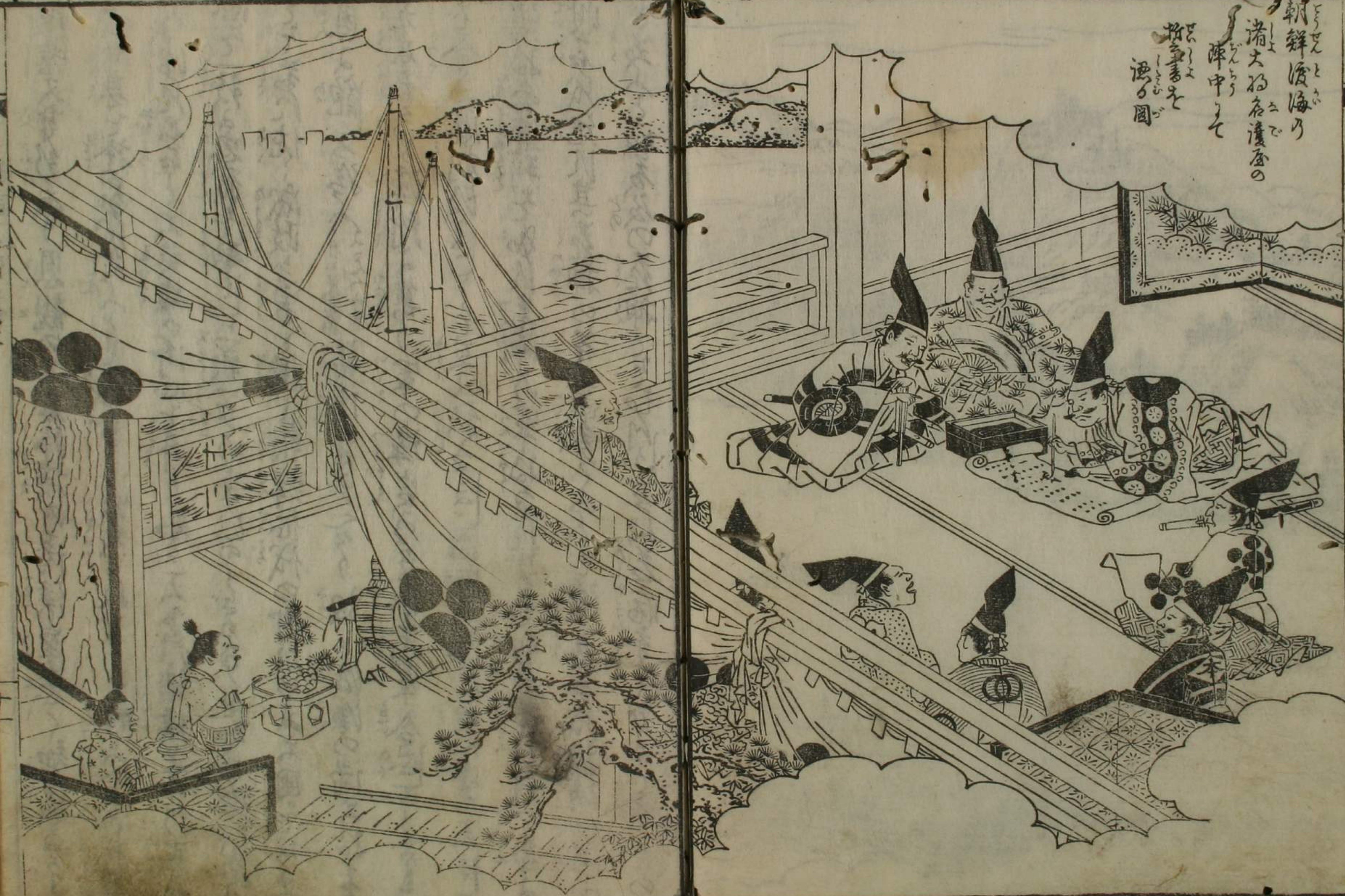


波止毛沖

真景記

九

朝鮮渡海乃  
諸大なる名漢屋の  
陣中にて  
折る書を  
漁の圖



甲老又其幼あり恩觀の大名外換の諸侯皇憲く智慮あり  
身と捨家私を去りて海軍に其業を以て時々（きや）を  
以て海軍と名し之を英雄の所心と事り知り天下に諸侯上中乃軍民  
心を一致に忠我を勵む朝一夕の事ありて其心を知事はけれ  
こそ其に依り成政が勇と懦と朝鮮征伐の所たれぬ大國を以て  
恩と飽（あ）に給ふ皆謂（い）ひて之なり叔も後海の諸大將  
九本を以て陣所を集り軍の決定あり小先軍令（しん）に  
を全き滿朝（まん）に給ふとて互に私をばし（し）折（せ）り七ヶ条と書（か）き  
諸將各連判（れん）をぬり先陣（せん）乃軍（い）なるがごとく加（か）る計（けい）一（いつ）番（ばん）  
姓名（せい）を記（き）し其（その）押（お）のき書（か）き（し）て後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
り加（か）る及（およ）びの死（し）押（お）こ（し）む内（うち）に（し）は若（わか）らば福（ふ）を（か）りて遺（い）すの  
時（とき）は押（お）し時（とき）後（のち）に（し）るるを（し）て敵（てき）は（し）るが故（ゆ）に我（われ）の戦（いくさ）場（ば）は（し）る  
死（し）を擇（えら）ぶ（し）るべき（し）るに（し）て死（し）に（し）て死（し）ん（し）は（し）るが故（ゆ）に我（われ）の戦（いくさ）場（ば）は（し）る  
送（お）言（げん）の状（じょう）何（なに）れ（し）るべき（し）るに（し）て後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
元年（げん）に（し）て日（ひ）初（はつ）日（にち）を（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
在（あ）るの儘（まま）と（し）て加（か）る計（けい）に（し）て小（こ）西（せい）抄（しやう）守（しゆ）長（ちやう）名（な）を（し）るが故（ゆ）に  
を（し）る其餘（そのあ）の諸（しよ）大（だい）將（じやう）お（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
石（い）火（か）矢（や）と（し）て抄（しやう）周（しゆ）の（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
難（がた）に（し）て及（およ）び洲（しゆ）渡（た）行（かう）を（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
之（これ）に（し）て及（およ）び其（その）後（のち）に（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
み種（たね）の（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
巨（きよ）海（かい）船（せん）を（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ

時（とき）は押（お）し時（とき）後（のち）に（し）るるを（し）て敵（てき）は（し）るが故（ゆ）に我（われ）の戦（いくさ）場（ば）は（し）る  
死（し）を擇（えら）ぶ（し）るべき（し）るに（し）て死（し）に（し）て死（し）ん（し）は（し）るが故（ゆ）に我（われ）の戦（いくさ）場（ば）は（し）る  
送（お）言（げん）の状（じょう）何（なに）れ（し）るべき（し）るに（し）て後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
元年（げん）に（し）て日（ひ）初（はつ）日（にち）を（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
在（あ）るの儘（まま）と（し）て加（か）る計（けい）に（し）て小（こ）西（せい）抄（しやう）守（しゆ）長（ちやう）名（な）を（し）るが故（ゆ）に  
を（し）る其餘（そのあ）の諸（しよ）大（だい）將（じやう）お（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
石（い）火（か）矢（や）と（し）て抄（しやう）周（しゆ）の（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
難（がた）に（し）て及（およ）び洲（しゆ）渡（た）行（かう）を（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
之（これ）に（し）て及（およ）び其（その）後（のち）に（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
み種（たね）の（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ  
巨（きよ）海（かい）船（せん）を（し）るが故（ゆ）に後（のち）に後（のち）に則（すな）わ



莫顯言篇卷



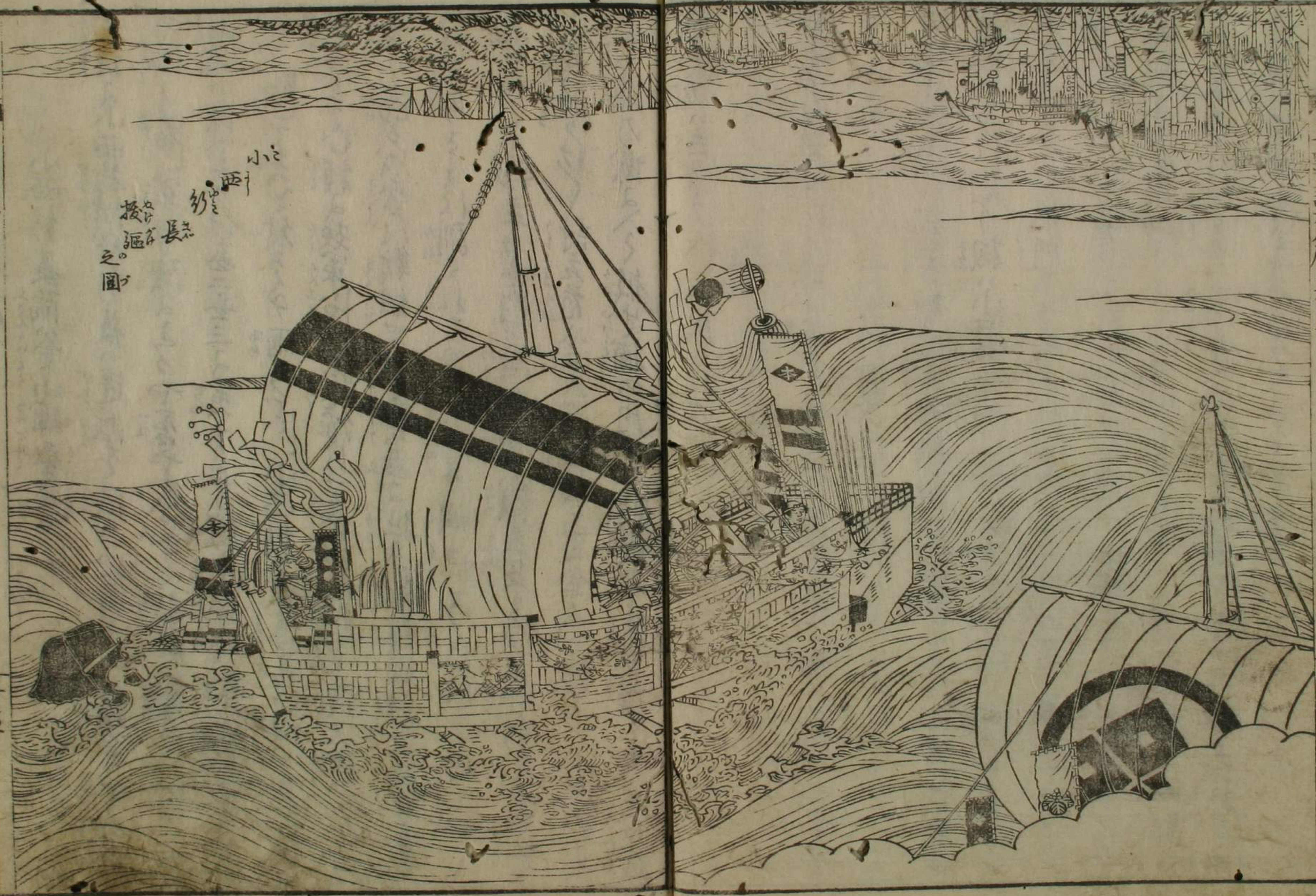
諸大名  
名義屋と  
朝野又法海

莫顯言篇卷

十日斗小西舟長い通て中ノ備斗を構へこれ物者智と心を合せ  
船の多のこ何ひ多小西が船其甚又即と也。若し教夜朝鮮渡海  
ては海と乃潮味強光る者として若智より付取らるが舟長側近  
くありて中換先刻より凡のよお羅くゆりては浪にけ間又又墨を  
う推渡しよのすか中中浪静又船の帆来自申けて對馬と  
ま心安く到りぬぞ。小西舟長大きに疾ひ疾のより刻儀を破を  
引上げ帆三分斗を揚て惣對馬守諸とも教百挺の櫓と船毎  
立させ送風を推切ては里余りし出らる小其又即ちぶとく風静  
浪静なりけしは是より帆を十分に巻て船は對馬の老崎よ急船  
疾よそつ帆風と見合せたか小西舟長中知くらの風乃帆なるが船  
其の舟が加茂とほ其其餘の諸お悉く朝鮮又押送り人勝り

く大功い立ちうは帆風を結は押切大浪と凌き谷山浦船着の所  
一船と号す自身破と引上げ櫓と立て推取らる浪静またあ  
らふぞれ我勝と曳く者を却風又送ひ波と潜り五三三三漕  
うらうら叔中を彼の風本に曉の凡が風乃るさう又船や出さん罵  
らるが小西舟長物者智三子の船何地へ郎や薩も月々加茂  
法心大きに怒り叔小西舟に却ぬれらるこそは櫓多道帆をまけよ  
構と立よと云風河ち下知とれは思多福徳志摩國をえめこい  
あうら乃舟長が舟後と立てい玄甲斐と我先又船と  
飛三三斗漕切うら小大浪天よまきり送風帆柱と吹倒し  
たれは舟が舟元乃風本へ吹戻さる加茂とんめ教多の舟率を  
を白眼で怒れども又よせんうらうら

東海道不詳卷三



小西  
 船長  
 之圖

東海道不詳卷三

十四

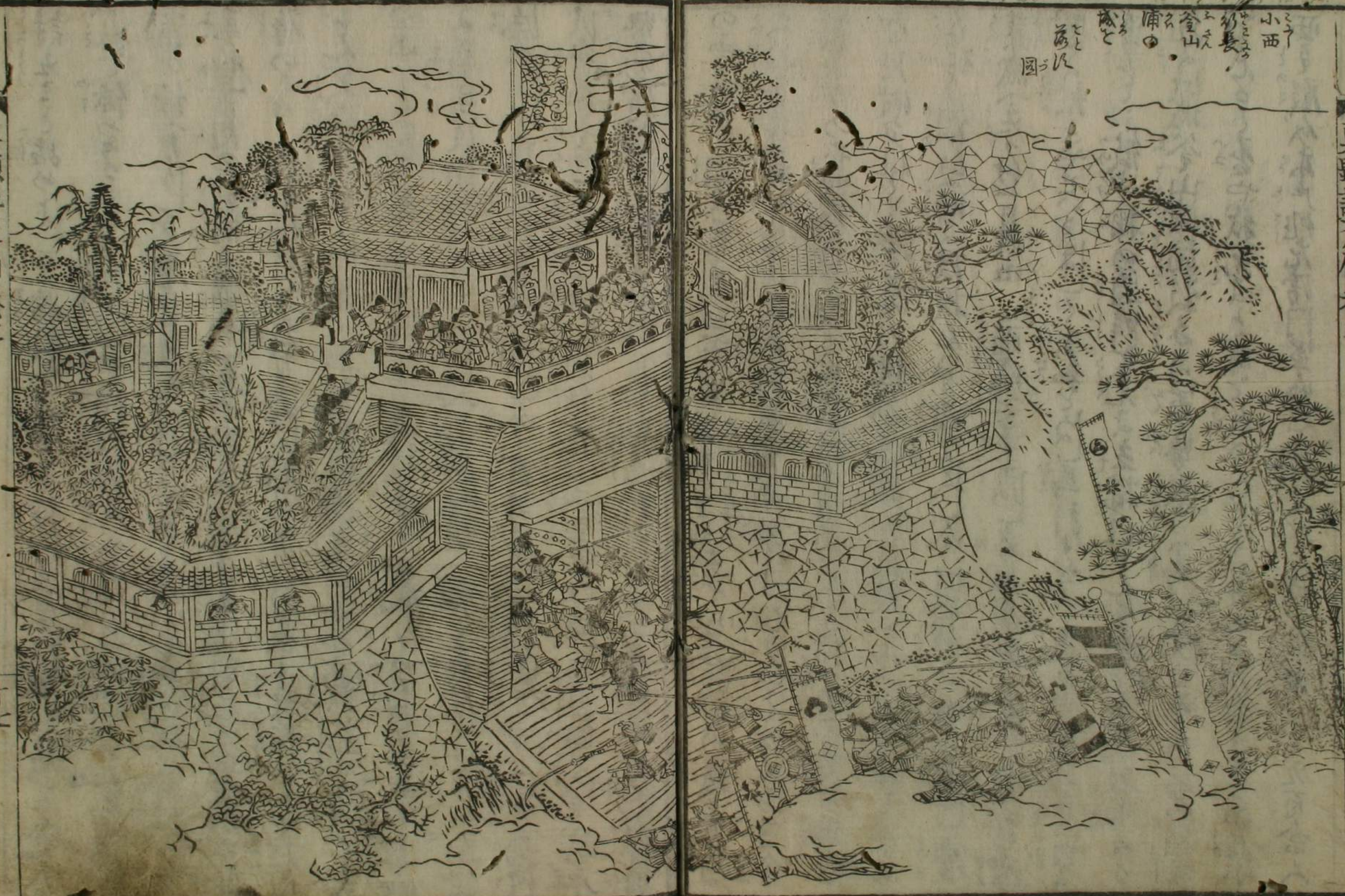


小西外長隔金山浦登萊

後又小西持守外長い送浪を凌ぎに月十二日難る金山浦各  
 の倭又隔軍勢陸よりや否や民家と放火し周を焼く金山  
 山浦の城へ入りけ五三三三三三三三三三三三三三三三三三  
 又不知て矢と射る雨乃下し小西外長先進甲の綴と  
 傾けし心腹又熱軍少し於縁に一文字に押寄候又城戸を推  
 破り尚る外長に斬例せば元来武に拙き朝鮮國は後世多之  
 安軍乃さまに訓がれ日本教年調練乃兵に争面も向ふ  
 きさんくも切立ち門と開き城と城立足もく進給と小西惣  
 軍兵退りけ討え首八又百生捕二百余人と坊より小西外長  
 金山浦乃城へ入り彼生捕の内より秋鞞乃者と撰り出せ給渡

のあり候と回よ是より三十里 朝鮮の里教去て登萊名乃城あり  
 大舟を李理とヤ小西外長諸軍勢一むいといくらんらる今  
 朝より高我城を以て出候今け城へ入て諸軍の芳と休む  
 分れた時れども登萊の城金山浦の城城とは要害と固り  
 多り洞い一時は攻接ん難らば今け破竹乃勢い候登  
 萊城へ入り一月の内は西城と東城と名は異國は表し各國の御  
 感又登平といはしく下急と候馬引せと飛ぬは諸軍一日は  
 勇と彼を捕の通辭と先よ立掃りしん登萊城へ攻めり  
 先よは城金山浦隔教乃軍勢兼ふあり受日本乃諸捕物  
 といふる否や我先よと城と捨さんくは進出る外外長が小  
 西殿外本戸他在浦門軍勢と廻り北る款と進落く九百余人

小西  
仍長  
金山  
庫  
城  
國





利又誘はる

武者と云く

意者

三か

國



きそ我独り先登せんと罵て橋のりんで急ぎたる小馬船の  
しんがたはして多る程は御騎馬の武者六十騎其れ其れ  
て進ぐるは正に如して民を以て馬と為求る小一疋は  
とて年又二十引来りて武士も多し其れを以て着れ者も  
多し其れを以て御騎馬の武者六十騎の武者とて  
多し其れを以て御騎馬の武者六十騎の武者とて  
多し其れを以て御騎馬の武者六十騎の武者とて

柳林に放せる牛を引とて軍に加るは  
かくて計は軍勢を繼て慶州の街を  
よひよひ日本軍の雜兵六十騎の民家の女十人斗馬よ  
のせ出するは其れを以て御騎馬の武者六十騎の武者とて  
多し其れを以て御騎馬の武者六十騎の武者とて

小西の兵士と遊拂は其れを以て御騎馬の武者六十騎の武者とて  
捕は其れを以て御騎馬の武者六十騎の武者とて  
遠く朝鮮國軍と入る日本軍の兵士は其れを以て御騎馬の武者六十騎の武者とて  
多し其れを以て御騎馬の武者六十騎の武者とて



二智  
朝解の  
虎民と  
伏せろ



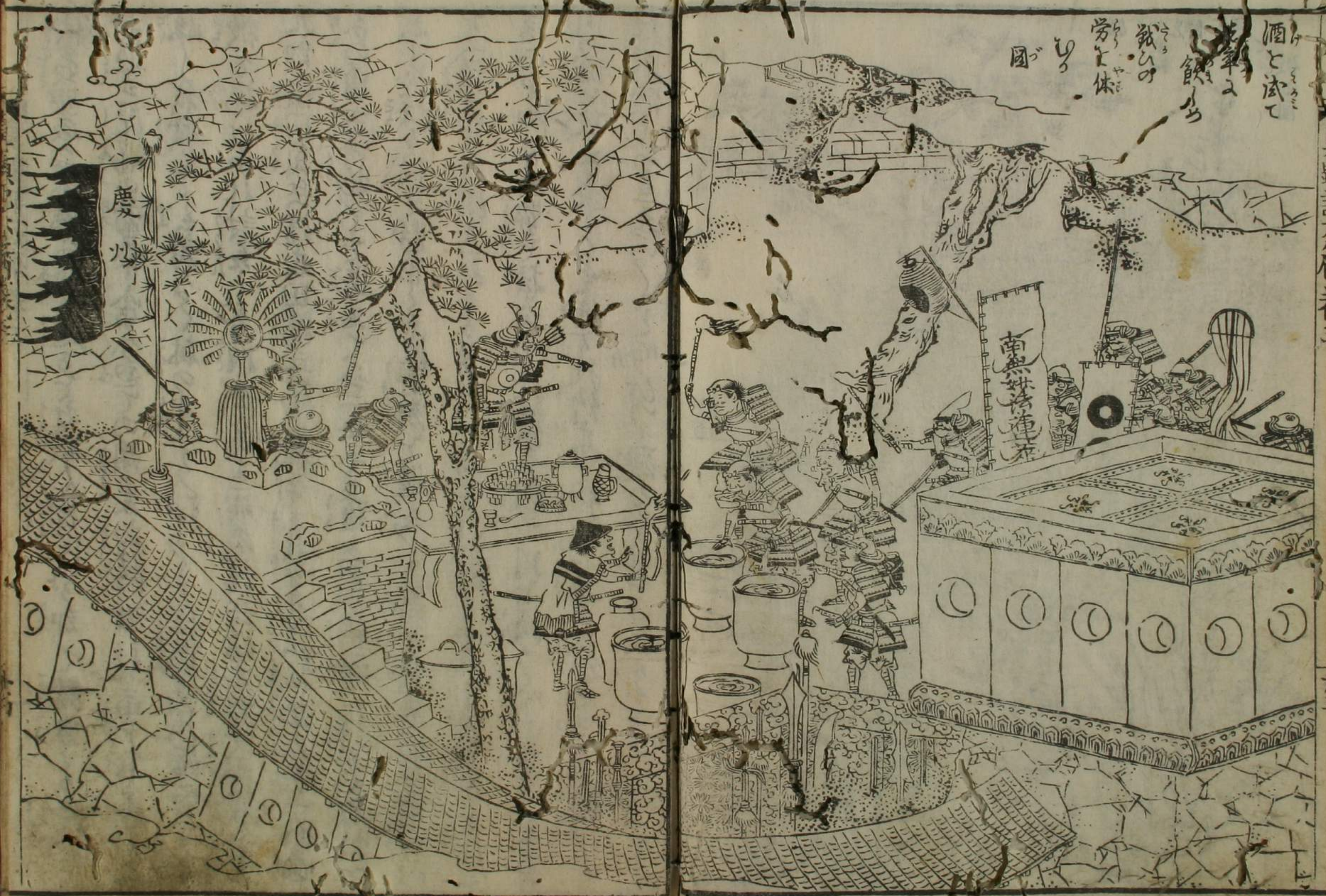
其の三拜九拜礼と臣に於て連てゆる愛彼女たが親族と見へて老君  
 の男女三千人斗然にけふ去きて何れ云のし甲脱び教るの様  
 かり其申す三千有余の老人甚じり所若く是より番の仁徳を  
 て戒くともが妻女娘と脱し給る難あきよと政を地より付礼と如  
 まじく日暮の云系りり甚心懐も汝のつぐれ若れれかく日  
 卒の言渡は通じらるや彼老人謹んで其の四僕を守國の日本身  
 の者ほく候を以て家業とする徳又即ち申す若かりが三千人  
 以て悪風のおふけ國へ吹流され終は朝鮮と倭布とぬく只今乃  
 名の相承里と申すは清とては汝にけ地は倭地とては地理の  
 業用よく流りて人然に流いたる人せよなむ恩出されしと重  
 なる相承里と申すの事御修に流したる軍中の通辭と申  
 以清心も清に流させらるる具にた急ぐまの二千里斗進む  
 後には面より板の板の板の上右樹本跡流くは志はけりを造  
 り頼る云々云々突くまの板よりさうぐり伏兵を捕し穴を掘るは  
 清心馬と申す相承里と申す事ある名は同く板の名と云板と申  
 板と申す何れも川あり毫川と号し其川の海に僅に里許あり  
 慶州の府内城は別ると申す清心又同城と守る大内いりる若  
 誓て云ふる番始人と申す若智勇ありて清と好む守る兵士三  
 百は清心とてはて先なるに知しては板の左右樹本の中は伏兵  
 と云ふるが鉄炮と打込候よよこめをれ先なるの大加後清兵清  
 率と申す知して板の右を鏡を林の中へさしと打ちける清心  
 の軍勢も遠くは番始人が斗略して二人の遣兵と林の東

東夷通記 卷之三



此圖  
 乃  
 真蹟  
 言  
 卷  
 之  
 三





酒と法て  
飲ふ  
我々の  
労と休  
り  
団

真言宗の節巻

九三



長江の府内城の辭晉伯と國



真蹟言六外傳卷三

真蹟言六外傳

三

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、





